

船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009函第20号	
事故等種類	衝突（消波ブロック）	
発生日時	平成21年3月25日 12時27分ごろ	
発生場所	北海道釧路港東区南外防波堤西灯台から真方位122° 120m付近 （概位 北緯42° 58.6′ 東経144° 21.1′）	
事故等調査の経過	平成21年3月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数</p> <p>LPG船 祐徳丸、998トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等</p> <p>132550、田原汽船株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	バルバスバウ左舷側に破口、右舷船首外板に凹損及びき裂、消波ブロックに僅かな欠落	
事故等の経過	<p>本船は、釧路港を出港中、同港東区南外防波堤西灯台を通過後、単独で操船中の船長が針路を約230°に定針して自動操舵とし、船橋左舷後部で航海日誌を記入していたところ、突然左回頭を始めた。</p> <p>船長は、大舵をとったような船体の振動から異常に気付き、操舵機を手動に切り替え右舵一杯をとったところ操作不能であり、自動・手動切り替えレバーを何度か操作したが作動せず、衝突直前に緊急停止ボタンにより主機を停止したものの、平成21年3月25日12時27分ごろ、南外防波堤南側に敷設された消波ブロックに、約10.5ノットの速力でほぼ直角に衝突した。</p> <p>衝突後、操舵機の操作油圧系統を2号系統に切り替えたところ正常に作動したため、本船はタグボートに伴走され、自力で釧路港に入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし</p> <p>海象：海況は穏やかであった</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>衝突後、船長が操舵機油圧系統を2号系統に切り替えたところ正常に作動し、また、メーカーの調査報告書によれば1、2号系統とも異常が発見されなかったことから、1号系統の電磁弁等に一時的な異常が生じた可能性があると考えられる。</p> <p>船長が前方の見張りを適切に行い、早期に操舵機の異常に気付き、操舵機の操作油圧系統を2号系統に切り替える等、適切な措置を講じていれば、衝突を回避できた可能性があると考えられる。</p>

原因

本事故は、本船が釧路港を出港中、操舵機の操作油圧 1 号系統の電磁弁等に一時的な異常が生じたため、操舵不能となって消波ブロックに衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。